

平成29年度 LSW F班事業活動中間報告

H29年10月10日

H29年度 Fグループ 4本柱

① 生活困窮者支援
(空家マップ化)

② 高齢者の可能性を活かし
技術や力を社会に発信
する企画(トメさん家)

③ 潜在介護職復帰への
取組み

④ 介護離職防止
(スタッフ紹介)

(目的)H29年度のFグループは、高齢者の技術や力を社会に向け発信する企画の継続と、新たに潜在介護職復帰に向けたアプローチや、生活困窮者支援として空家マップ化を進めていきます。さらには、介護職の楽しさややりがい等の紹介も連合会Verとして行っていくことを目的とします。

グループメンバー紹介

リーダー： 安庄 隆一(S敷根)
 サブリーダー：松下 和代(GH嘉祥園ひなた)
 メンバー：猪熊寧子 (国分府中GH) 天辰美幸 (介護付有料みち草)
 原野貴司 (よいどこい) 蔵元隆史 (アメニティ国分)
 鳥丸卓水 (S神宮) 今吉隆 (佐藤医院通所リハ)
 木佐木芳貴 (リハテラス国分) 外菌央将 (GH福寿荘)
 森いづみ (GHとうりんじハウス)
 青木昌恵 (Sがんばろ家) 八重山佐代理 (国分府中GH)
 片平春香 (GHきりっま) 栗野由規恵 (S一休庵)
 原口千秋 (Sおあしす福山) ~~主田哲也 (GH隼大)~~
 後藤真作 (GHふれあい) 福吉志保美 (認知デイ日当山の家)
 濱畑利華 (小規模特養日当山の家)

以上20名

今年度の活動内容

① 生活困窮者支援

(目的) 生活する上で‘住’は欠かせないものである。しかし、生活の場を求めた際、保証人等の問題により契約が出来ない事もある。ここでは、地域別の空家の現状や課題等を市等の関係機関と連携を図りながら、マップ化していくことを目的とする。

② 高齢者の可能性を活かし技術や力を社会に発信する企画

(目的) これまでの人生で培ってきた技術や特技が、年を重ねても報酬を得られる仕組みを多業種の方と連携・構築していくことで、生きがいを持ち続けながら生活することができる。また、民間企業が抱える課題を知り高齢者の可能性とマッチングさせることにより、高齢になっても認知症になっても、社会貢献が可能であることを発信し、いつまでも生き活きと暮らし続けられる社会づくりを目指す。

今年度の活動内容

③ 潜在介護職復帰への取組み

(目的) 何かしらの事情により介護職を離れた方が再就職出来るよう、研修等も含めたフォロー体制を構築する事を目的とする。

④ 介護離職防止

(目的) 介護の現場には様々な職員が勤務している。今後、介護業界で勤務する人財が減少すると言われていているが、自分達は介護という仕事を社会に発信出来ているのか、発信が不十分であればどうしたら、より介護の魅力をアピールしたら良いのか等を模索、検討し形にしていくことを目的とする。

今年度の具体的活動計画

① 生活困窮者支援

<< R: 松下和代 SR: 猪熊寧子 メンバー: 木佐木芳貴・福吉志保美・濱畑利華 >>

(目的) 生活する上で‘住’は欠かせないものである。しかし、生活の場を求めた際、保証人等の問題により契約が出来ない事もある。ここでは、地域別の空家の現状や課題等を市等の関係機関と連携を図りながら、マップ化していくことを目的とする。

(進捗状況)

・霧島市の現状調査(市全体および地区別)を不動産関係会社(宅健協会)に調査を行っている段階。調査終了後、リスト化する予定。

今年度の具体的活動計画

② 高齢者の可能性を活かし技術や力を社会に発信する企画

<< R:青木昌恵 SR:岩戸智美 メンバー:森いづみ・栗野由規恵 >>

(目的) これまでの人生で培ってきた技術や特技が、年を重ねても報酬を得られる仕組みを多業種の方と連携・構築していくことで、生きがいを持ち続けながら生活することができる。また、民間企業が抱える課題を知り高齢者の可能性とマッチングさせることにより、高齢になっても認知症になっても、社会貢献が可能であることを発信し、いつまでも生き活きと暮らし続けられる社会づくりを目指す。

(進捗現状)

- ・今年、12月16日(土)に開催。年末年始用品を目玉とする。
- ・実施に向けた運営委員会を9月より月1回の頻度で開催。
- ・今年のポスターは隼人工業高校のインテリア科に依頼しており、11月の運営委員会で決定予定。
- ・開催時期を早めにお知らせし、出品者の方々に十分な準備をしていただけるようにする。(特に竹ぼうきなど、竹材料によるもの。野菜は植え付けの時期)

今年度の具体的活動計画

③ 潜在介護職復帰への取組み

<< R:今吉隆 SR:外園央将 メンバー:八重山佐代理・原口千秋・後藤真作>>

(目的) 何かしらの事情により介護職を離れた方が再就職出来るよう、研修等も含めたフォロー体制を構築する事を目的とする。

(進捗状況)

- ・ハローワークや県社協、霧島市との関係作りを進めており、行政が橋渡しを担って下さる等、協力が頂けている。
- ・これまで実態調査や離職理由調査を実施
- ・11月13日(月)に実務者研修を受けている訓練生10名と事業所見学、昼食会を開催予定。それに先立ち、10月18日にF班で介護保険事業所の種別紹介をさせて頂く事となっている。

今年度の具体的活動計画

④ 介護離職防止

<< R: 蔵元隆史 SR: 原野貴司・片平春香 メンバー: 鳥丸卓水・天辰美幸 >>

(目的) 介護の現場には様々な職員が勤務している。今後、介護業界で勤務する人財が減少と言われていたが、自分達は介護という仕事を社会に発信出来ているのか、発信が不十分であればどうしたらより介護の魅力をアピールしたら良いのか等を模索、検討し形にしていくことを目的とする。

(進捗状況)

・介護離職防止は、離職理由が様々である事から、F班としては事業所で働く職員の趣味活動に焦点を当て、趣味の紹介や一緒にやってみたいというかたと横のつながりを作り、それがモチベーションの意欲向上につながる事で、介護離職防止につながるようアプローチを図る。現在は、各事業所にアンケートを実施中。11月1日に取りまとめ、取材。広報誌やホームページへの掲載を行う予定。